れんごう中越地協

第1184号2026.2.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人　長谷川義和
https://tyuuetu.net/

定　価　1部10円
購読料は会費に含む

連合中越第２回幹事会を開催
専門部年間計画を確認

連合中越地協第２回幹事会が、１月22日（木）午後６時30分から地協事務所においてＺｏｏｍ参加と併用しながら開催されました。幹事会では、各専門部の年間活動計画、春季生活闘争、ならびに衆議院議員総選挙の取り組みを中心に論議しました。

最初に長谷川議長は次のようにあいさつしました。

「突然の解散総選挙により対応に追われているが、雪国の実情を考えない自己都合解散は許されない。連合方針に沿って闘いを進めていきたい。春季生活闘争もいよいよスタートする。賃金引き上げへの期待は非常に高く、賃上げがあたりまえの社会となるよう、皆さんとともに頑張っていきましょう。」

活動報告

幹事会では最初に、第１回幹事会（12月19日）以降の主要日程について報告が行われました。

あわせて、フードバンクながおか「長岡子ども笑顔プロジェクト」へのボランティア対応、ながおかワーク&ライフセミナーの開催など、各種活動の取り組み状況が報告されました。

続いて、１月14日から21日にかけて開催された各専門部担当者会議の内容について、各副議長から報告が行われました。

春季生活闘争の取組を確認

組織生活担当

五十嵐副議長から、組織生活部担当者会議の主な内容として、連合新潟春季生活闘争方針説明を地協委員会で実施すること、２月27日に各部門連絡会を開催し「調査表」をもとに情報共有を行うことが報告されました。

また、組織拡大への対応については、連合新潟の拡大目標を共有するとともに、連合新潟組織拡大オルガナイザーと連携した取り組みを進めることが確認されました。

自治体要望を充実化

政策福祉担当

渡辺副議長からは、政策福祉部の年間活動計画が報告されました。

主な内容として、自治体要望集約の充実に向け、長岡市予算学習会の開催、回答評価やアンケート内容の充実、連携市議との意見交換、各支部からの要望提出を進めることが示されました。

さらに、各構成組織から産業政策等について地協委員会を活用して提起を求めること、ながおかワーク&ライフセミナーの開催、退職者連合との連携、新潟県ライフサポートセンターの運営対応についても報告されました。

eスポーツ関連イベントを検討

教宣文化担当

出張中の大野副議長に代わり、長谷川議長から教宣文化部の活動計画が報告されました。

機関紙「れんごう中越地協」の定期発行体制の充実、ホームページやＳＮＳ、メディアを活用した連合アピールの強化、労働相談ホットライン関連の街頭宣伝活動の実施などが確認されました。

また、第51回勤労者ゆとり釣魚大会については、４月中旬に実行委員会（担当者会議）を開催し、開催時期などを判断すること、昨年初めて実施したｅスポーツ体験会については内容を検討しながら継続開催していくことが報告されました。

農園ＯａｓｉｓＲ継続して取組む

国民市民運動担当

大雪の影響で欠席となった番場副議長に代わり、横澤事務局長から国民市民部の活動計画が報告されました。

第97回メーデー長岡地区大会の内容検討状況のほか、中越地協各地区における平和集会の積極的な取り組み、特に「平和の森コンサート」など８月１日前後の行動を強化していくことが示されました。

また、フードバンクながおかへの支援継続、農業・食料・環境問題を学ぶ事業については、昨年に引き続き「福祉市民体験農園ＯａｓｉｓＲ」で取り組むことが報告されました。

審議予定事項

審議事項では、春季生活闘争関係の各種取り組み日程、第97回メーデー地区大会、各支部活動について協議しました。春闘関係では、決起集会などの日程を確認しました。

長岡地区メーデーについては、前回幹事会で確認した基本計画をもとに内容の検討を行いましたが、「参加してほしいターゲット層や目的をより明確にすべき」「午前中の大会に多く参加できるよう工夫が必要ではないか」などの意見が出され、国民市民担当でさらに論議を深めることとなりました。

また、衆議院議員総選挙の取り組みについては、連合新潟で決定した推薦・支持候補者の当選に向け、組織をあげて取り組んでいくことが確認されました。

こだわろう！くらしの向上
ひろげよう！仲間の輪

春闘開始宣言

連合新潟は1月30日に開催した第77回地方委員会で2026春季生活闘争方針を決定しました。

その後、新潟駅前で春季生活闘争開始宣言街頭行動を行いました。

いよいよ春闘本番です。

（闘争開始宣言は裏面参照）

春季生活闘争スタート

連合中越春闘日程

２月１３日（金）18時00分～第１０１回地協委員会
　　前段に連合新潟春闘方針の説明会
　　会場　長岡市立劇場大会議室
２月２７日（金）18時00分～部門別連絡会・合同交流会
　　会場　魚藤・社会福祉センタートモシア
３月　４日（水）18時00分～長岡地区春闘総決起集会
　　会場　長岡市立劇場小ホール
　　各支部でも総決起集会の開催を予定しています

あたご3 ≪No113≫

議　長
長谷川義和

『鬼滅の刃』という漫画の名を皆さん一度は耳にしたことがあると思います。週刊少年ジャンプにて２０１６年に連載スタートした少年漫画です。２０２０年に原作が完結していながら、昨年７月劇場公開となった『鬼滅の刃～無限城編　第１章　猗窩座再来～』では国内興行収入ランキングトップを塗り替える勢いの大ヒットとなっています。物語は剣技と能力がぶつかり合う、ドラゴンボールに代表される少年ジャンプ王道のバトル漫画ですが、ストーリーや登場人物の設定が緻密で深みがあり、私もすっかりハマりました。映画は漫画とはまた違う素晴らしさがあり、ストーリーはわかっていながらも５回ほど見ましたが、各回でそれぞれ楽しむ見方が違います▽１回目は全体、２回目は映像美、３回目は音響、４回目は声優、５回目は再全体となり、映画館に再来したのは登場するキャラクターである猗窩座よりもこの私と言えます。年が明け、春闘を迎えるこの時期をもってして、私の中ではまだそのハマりがくすぶっており、賃上げという成果を目指し、交渉という舞台でその戦いを勝ち取るため、組合役員という柱達と力を合わせながら鬼殺隊ならぬ賃上隊として頑張る決意が勝手に湧き上がっております▽皆さんも同じ想いをひとつに今春闘を共に頑張りましょう！！

新潟県ライフサポートセンター
１人で悩まず、気軽にご相談ください
☎（0258）-86-8898　秘密厳守
相談は原則無料　平日:10時～16時
・日常生活全般　・心の悩み　・人間関係　等
〒940-0036　長岡市愛宕3-7-24　2F
Email　nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

中越地協支部長　あいさつ（前編）

小千谷支部　支部長　大橋　康史

新年、明けましておめでとうございます。日頃より連合小千谷支部の活動へのご理解とご支援を賜りありがとうございます。昨年は、加盟単組の組合員の皆様からのご協力により様々な活動を無事に開催することが出来ましたこと深く感謝申し上げます。

今年も引続き、各組合員の皆様方からのご協力を頂きながら、役員と共に一致団結し支部活動を進めて参りたいと考えております。

結びに、本年が組合員の皆様にとって実り多き一年となりますよう、また、皆様並びにご家族のご多幸とご健康を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

南魚沼支部　支部長　大塚　欣吾

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、日頃より連合の取組に対しご理解ご協力を承り、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、社会経済活動が回復基調に転じたことを実感できる年となり大幅な賃上げを勝ち取ることが出来たのではないでしょうか。しかしながら急激な物価上昇に賃上げが追いついておらず喜べるような実質賃金となっていないのが現実だと思います。引き続き、力強い賃上げの流れを持続的なものとしていかなければなりません。

また、誰もが安心して働き続けられる職場環境の整備を実現し、人の確保・定着につなげていく必要があると思います。

２０２６春闘のスタートと位置付け、取り組みを進めてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

本年も宜しくお願い致します。

2026春季生活闘争 闘争開始宣言

「くらしを向上」させる。その実現に向けて、「未来づくり春闘」がいよいよスタートする。

2025春季生活闘争では、連合新潟結成以来、最高額となる賃上げが実現した。企業規模の大小を問わず、賃上げのすそ野は確実に広がっている。

しかし、実質賃金はマイナスのまま推移し、いまだに物価上昇に賃上げが追いつき、追い越すことができていない。

2026春季生活闘争は、実質賃金をプラスに転換させるための「正念場」である。私たち連合新潟は、春季生活闘争の取り組みを通じて、「必ずそばにいる存在」として社会的責任や使命を果たしていかなければならない。そして、労働組合の存在価値を十分に発揮、発信していこう。

「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて、仲間の輪を広げ、格差是正と分配構造の転換への取り組みを通じて、社会と未来を変えていく。

こだわろう！ くらしの向上 ひろげよう！ 仲間の輪

ここに連合新潟、構成組織、加盟組合、地域協議会一丸となって最後の最後まで闘い抜くことを誓い合い、2026春季生活闘争の開始を宣言する。

2026年1月30日

日本労働組合総連合会新潟県連合会
第77回地方委員会

ＳＪネット委員会　第２回委員会を開催

ＳＪネット委員会は、第２回委員会を１月10日（土）17時30分から長岡市内で開催しました。

委員会では、新しい役員体制のもと、年間の活動計画を論議しました。昨年はセミナー、交流会等を多く開催することができました。今年も新しい視点も入れながら取組を行っていくこととしました。

当面、４月にユニオンパワーアップセミナーを開催することとし、次回委員会で内容を決定することとしました。

委員会終了後には、新旧役員引き継ぎ会を開催し、ミニゲームなどを行いながら、旧役員も含めて交流を深めました。

ながおかワーク＆ライフセミナー　第１講座報告

映画「遠いところ」上映
―女性と子どもの貧困の連鎖を考える―

ながおかワーク＆ライフセミナー第１講座が、１月10日（土）、アオーレ長岡を会場に約１２０名の参加のもと開催されました。

冒頭、主催者を代表して長岡地区労働者福祉協議会の矢島会長があいさつし、労福協の活動紹介とともに、本講座を皮切りに３月まで計５回の連続講座を実施することが報告されました。

続いて、新潟・市民映画館シネ・ウインドのボランティアスタッフ五十嵐奈穂子氏より、上映作品「遠いところ」（工藤将亮監督）のメッセージが紹介され、上映が行われました。

本作品は、若くして親となったシングルマザーの生き方を描きながら、その背景にある沖縄の深刻な貧困問題に光を当てています。沖縄県は県民一人当たり所得が全国最下位で、17歳以下の子どもの相対的貧困率は２８．９％と全国でも高い水準にあります。また、19歳以下の若年層出産率、非正規労働者の割合、ひとり親世帯の比率はいずれも全国で最も高く、貧困が世代を超えて連鎖している現実が浮き彫りにされました。

こうした問題は沖縄だけの課題ではありません。新潟においても、非正規雇用の拡大やひとり親世帯の増加などにより、女性と子どもが経済的に困窮しやすい状況が広がっています。映画のコピー「どうしたら未来は変わりますか」は、私たち一人ひとりに行動を問いかける言葉でもありました。

上映後には、ＮＰＯ法人「女のスペース・ながおか」代表の荻野茂子氏から報告が行われました。昨年１年間の相談支援件数は１４９７件にのぼり、ＤＶ、虐待、貧困、逆境的な家庭環境など、複合的な困難を抱える女性や子どもが多い現状が示されました。

荻野氏は「困窮状態は個人の努力不足ではなく、社会の構造によって生み出されることが多い」と指摘し、行政、関係機関、民間団体、地域社会が連携して支える体制づくりの重要性を訴えました。

また、支援にあたっては当事者の意思を尊重し、主体的に生きられる社会制度へ転換していく必要があると強調しました。

最後に「問題は個人ではなく、社会のあり方にある」という言葉で締めくくられ、参加者は女性と子どもの貧困の連鎖を自分たち自身の課題として受け止める機会となりました。

本講座を通じて、貧困の連鎖は決して特別な地域の問題ではなく、私たちの身近な地域社会にも存在する現実であることが明らかになりました。労働組合は、働く者の権利を守るだけでなく、女性や子ども、ひとり親世帯など、困難な状況に置かれた人びとの声を社会に届ける役割を担っています。

今後、労福協および関係団体と連携し、ライフサポートセンターでの相談支援活動の周知や制度改善に向けた要請行動を強化するとともに、学習活動を継続しながら、貧困の連鎖を断ち切る地域づくりに主体的に取り組んでいきます。誰一人取り残されることのない社会の実現に向け、行動を積み重ねていく決意を新たにする講座となりました。

ながおかワーク＆ライフセミナー開催予定

第３講座　夜職女性の現場から考える女性の貧困とは

と　き：　２月７日(土)14:00～15:30
ところ　長岡市立劇場大会議室
開催団体　ＮＰＯ法人女のスペース・ながおか
内　容　徳田玲亜氏講演
（弁護士・ＮＰＯ法人風テラス理事長）

第４講座　こども食堂ってなぁに
～こども食堂メニューを食べてみよう

と　き：　２月１５日(土)13:30～15:30
ところ　アオーレ長岡　市民協働ルーム
開催団体　ながおか子ども食堂・地域食堂ネットワーク　なっきぃねっと
内　容　こども食堂活動報告
こども食堂メニューの試食

詳しくはセミナーホームページで

メイン講座＆交流会
「いま必要なのは、つながる社会」

と　き：　３月２０日(金･祝)14:00～
ところ　アトリウム長岡
『働くことの小さな革命　ルポ 日本の「社会的連帯経済」』著者工藤律子氏講演
地元で活躍されている皆さんとのパネルトーク

カカムラド中村／記念講演会2026

人と自然との和解
～アフガニスタンの思索と実践～
中村哲医師の行動に倣う

３月12日（木）　アオーレ長岡
10:00～「荒野に希望の灯をともす」上映会
13:30～PMS支援室長　藤田千代子さん講演会
主催　（一社）シンクタンク・ザ・リバーバンク